

# 一目置かれる名古屋の手土産セレクション

NAGOYA souvenir selection

コピーライター、プランナー、コラムニスト。  
工芸・着物・伝統芸能、職人の世界観、  
現代アートや芸術全般、日仏文化比較、  
紀行文などのテーマを主に手掛ける。  
やっとかめ文化祭ディレクター。



コピーライター  
近藤 マリコ

はじめて訪問する企業やご挨拶に何う先に、  
気の利いた手土産を持っていけたら、相手に喜んでいただけるだけでなく、  
そのセンスの良さに好感度アップという効果もついてきます。  
季節はもちろん、訪問先の人数や男女比、職種によって、  
選ぶ手土産は変わってくるはず。  
ここでは、シーンに応じて使える  
様々な名古屋の手土産をご紹介します。

vol.15  
弘法屋

Koboya



「千両みかん」1箱 4,140円(税込/紙箱BOX入)

## 若旦那が恋い焦がれる、真夏のみかん。

古典落語の『千両みかん』をご存知でしょうか。土用の暑い季節に商家の若旦那が気の病になり、番頭が原因を探ると「みかんが食べたい」と一言。旦那の命により番頭は町中で真夏のみかんを探すこととなります。苦勞の末に1個だけみかんを見つけますが、みかん1個に千両の値が。若旦那は自分で7房食べ、残りの3房は父母と番頭にと差し出します。10房で千両ですから、3房のみかんは三百両と計算し、なんと、番頭は3房のみかんを持って逃げて行方をくらますという筋書。

この<sup>はなし</sup>断を知ってかどうか、ある落語会の主催者に「冷えていますからジュース代わりにどうぞ」と差し入れされた御仁がいました。落語好きなら、センスの良い贈り物！と感心するところですよ。

この時季のハウスみかんブランドである「みはまっこ」は愛知県知多の美浜産。全国でもトップクラスの品質として評価されているそうです。小ぶりのサイズが手土産には程よく、可愛らしい紙箱ごと冷やしてお渡ししたら、ジュースで甘い一服の清涼剤としてきつと喜ばれるはず。落語好きの方にはその意味をわかっていただけでしょ。ハウスみかんがある現代なら若旦那も病にならず、番頭も逐電しないで済んだのに、と想像しつつ…。

### other item

このほかに…  
お土産情報



- ◆ ナチュラルスイーツ「デリフル」  
フレッシュフルーツをたっぷり使った果物屋さんならではのデザートが、季節ごとに登場している。夏は、丸ごとぶどうのゼリーや桃のコンポート、メロンのパパロアなども人気。  
1個 864円(税込)



- ◆ シャインマスカット(木箱入)  
種なしで皮ごと食べられるシャインマスカットは、この季節に大人気の果物。パリッとした皮と青りんごのような風味が特徴で、オフィスで分けてもらいやすいので進物にもぴったり。  
1箱 6,264円(税込)  
※入荷状況により価格が変動いたします。



1947年(昭和22年)創業の果物専門店が、ジェイアル名古屋タカシマヤに移転したのは2020年9月。季節の果物をはじめ、カットフルーツや、フルーツシェイク、しばりたてのフレッシュフルーツジュース、フルーツのデザートなどが人気となっている。

弘法屋 ジェイアル名古屋タカシマヤ店

中村区名駅1丁目1-4 ジェイアル名古屋タカシマヤB2F  
052-586-2620  
営業時間/ 10:00~20:00  
<http://www.koboya.co.jp/>

